

区分 I 重点大型研究計画継続応募フォーム

本応募フォームは、区分 I の研究計画の内、

○2期6年以内の重点大型研究計画(マスタープラン 2017 で選定された計画及びマスタープラン 2014 とマスタープラン 2017 に連続して選定された計画)を対象としています。なお、継続に際しては、次の二つの条件を満たすことが求められます。

(条件1) 計画の準備状況に進展が見られる。

(条件2) 当該の学術コミュニティが総意として継続を希望、了承している。

○マスタープラン 2011 から 3 期連続して重点大型研究計画に選定されている計画は 対象になりません。(⇒□区分 I 大型研究計画」の対象となります)

【研究計画について】

1: マスタープラン 2017 で重点大型研究計画に選定された研究課題の年度と研究計画課題名を下記に記入してください。マスタープラン 2014 でも重点大型研究計画に選定されている場合は、その研究課題の年度と研究計画課題名も記入してください。

2: 大型施設計画か大規模研究計画かを選択してください。

3: 総経費

後述の所要経費の合計額を記載してください。

4: 学術研究領域の選択

融合領域以外を選択した場合は、別紙より該当する領域(コード)を 1 つ選択してください。必要であれば、もう 1 つ「副」として選択することも可能です。

融合領域を選択した場合は、3 つ以内の領域を選択してください。

さらに関連する学術研究領域がある場合には、こちらにコードを記入してください。

5: 研究計画課題名(日本語)(80 字以内)

6: 研究計画課題名(英語)(30 語以内)

7: マスタープラン 2017 からの進展した点の要約を記載してください。(400 字以内)

8: 計画の概要(800 字以内)

以下の項目に記載する内容を要約してください。具体的にはマスタープラン 2017 で記述された「計画概要」に、進展した点を加えて記載してください。本項目以降で求められる「進展した点」は継続を認める(条件1)の判定にも利用されます。

9: 目的と実施内容(800 字以内)

目的と、主に施設(大型施設計画の場合)、もしくは主に設備・ネットワーク構築・データ集積・運営(大規模研究計画の場合)に関わる具体的実施内容等について、マスタープラン 2017 で記述された「目的と実施内容」に進展した点を加えて記載してください。

【学術的価値】

10: 学術的な意義(800 字以内)

学術的重要性、期待されるブレークスルーと研究成果及び様々な効果(他の学術分野への波及効果を含む)とそれらの意義を、マスタープラン 2017 で記述された「学術的意義」を元に、変更があればその変更点を加えて記載してください。

11: 国内外の研究動向と当該計画の位置付け(500 字以内)

マスタープラン 2017 で記述された「国内外の研究動向と当該計画の位置付け」を元に、変更があればその変更点を加えて記載してください。

12: 国際協力・国際共同(500 字以内)

国際協力・国際共同を伴う計画の場合は、その形態と体制、国際的要請と国際的状况、想定・期待される日本の役割等について、マスタープラン 2017 で記述された「国際協力・国際共同」に進展した点を加えて記載してください。

【実施主体の明確性】

13: 実施機関と実施体制(800 字以内)

全ての機関名を記載してください。実施の中心となる機関と参画機関それぞれの役割を記載し、実施の中心となる機関が責任を果たせる体制であることを具体的に示してください。実施の中心となる機関においてどのレベル(機関レベルとして、研究科・部局等のレベルで、研究グループのレベルで、等々)でどの程度の合意(正式な合意が得られている、合意を得るべく準備中、等々)が取られているかについても具体的に記載してください。具体的にはマスタープラン 2017 で記述された「実施機関と実施体制」を元に、進展した点と変更があればその変更点を加えて記載してください。

14: 科学者コミュニティの合意状況等(他の提案との重複の有無なども含む)

コミュニティの定義を述べ、その中で、本研究計画について、どの程度の広がりを持つ範囲(学協会として、学協会の分科会として、研究グループとして、等々)でどの程度の合意(正式な合意が得られている、合意を得るべく準備中、等々)が得られているかについて、マスタープラン 2017 で記述された「科学者コミュニティの合意状況等」を元に、進展した点と変更があればその変更点を加えて記載してください。

さらに本計画を重点計画として継続することにコミュニティのどの程度の範囲でどの程度の合意が得られているかについて具体的に記述してください。(500 字以内)

15: 所要経費(500 字以内)

総経費と内訳を明記してください。

※大型施設計画の場合、建設費(装置、設備等を含む)及び運営費(研究費を除く)を明記。

※大規模研究計画の場合、研究費(設備費・人件費等を含む)を明記。

マスタープラン 2017 で記述された「所要経費」から変更になった点があればその変更点を加えて記載してください。

16: 年次計画(800 字以内)

装置等の開発・製作・設置だけでなく、終了時期を含む運用計画(雇用、人材育成等を含む)とそれぞれに必要な期間や予算措置についても具体的に記載してください。また、期間終了後の計画(雇用、人材育成等を含む)についても記載してください。具体的にはマスタープラン 2017 で記述された「年次計画」を元に、変更があればその変更点を加えて記載してください。

【計画の妥当性、成熟度、共同利用体制の充実度】

17: これまでの準備状況を選択してください。

- 1) 中心メンバーによる企画段階
- 2) 研究者グループの具体的検討による企画書段階
- 3) 技術開発・計画の一部試行を含む準備段階
- 4) 計画全体の予算要求段階

準備の現状を具体的に記載してください。なお、本計画に関連して過去に予算化された大型研究があれば、その情報も含めてください。具体的にはマスタープ

ラン 2017 で記述された「計画の妥当性、成熟度、共同利用体制の充実度」を元に、進展した点を加えて記載してください。(800 字以内)

18: 共同利用体制 (500 字以内)

大型施設計画及び大規模研究計画双方ともに、共同利用体制の体制、運用計画、準備状況について、マスタープラン 2017 で記述された「共同利用体制」を元に、進展した点と変更があればその変更点を加えて記載してください。

19: 社会的価値(500 字以内)

国民の理解、知的価値、経済的・産業的価値、SDGs への貢献等について該当するものがあれば記載してください。具体的にはマスタープラン 2017 で記述された「社会的価値」を元に、変更があればその変更点を加えて記載してください。

【国家としての戦略性、緊急性】

20: 政府の政策における位置付け (500 字以内)

政府の政策における位置付けがあるものについてはその概要について、マスタープラン 2017 で記述された「国家としての戦略性、緊急性」を元に、変更があればその変更点を加えて記載してください。